



Japan Region

Volume 17

No. 4

July 1999



目 次

Table of Contents
Vol. 17, No. 4, July 1999

日本リージョン会長基調演説	Japan Region President's Keynote Speech	1
I T C 公式訪問者挨拶と I T C ニュース	Greetings from ITC Official Visitor and ITC News	2
第 17 回日本リージョン年次大会報告	ITC Japan Region 17th Annual Conference Reports	3
年次報告	Annual Reports	4
日本リージョン会則・常規修正	Amendments of Japan Region Bylaws and Standing Rules	5
教育セッション	Training Sessions	6
スピーチコンテスト	Speech Contest	8
表彰	Awards	9
第 18 期日本リージョン選出役員	The 18th Japan Region Officers	10
謝辞	Address of Thanks	10
考えてみましょう。これからの I T C	Food for Thought for the Future of ITC	11
今、私達のクラブは…	“Now, Our Club is…”	12
第 17 期日本リージョン役員を終えて	The 17th Japan Region Officers' Thoughts	13
情報スペース	Information Space	14
編集室便り	From Editor's Room	15

日本リージョンホームページ
<http://www.nttl-net.ne.jp/itcjp>

日本リージョン会長基調演説

Japan Region President's Keynote Speech



第17期日本リージョン会長 江藤 万里子

今年日本の名古屋に初めてクラブが出来た時から50年になります。そして日本で初めての世界大会が来月神戸で開かれます。日本リージョンは現在クラブ数81、会員数は約1950名になりました。

今期は事務所を前期末の移転にともない、事務所らしくコンピューター等の設備機器も整え、以前にも増して活動し易くなったと報告されています。特にインターネットは最も強力なコミュニケーションの手段です。今期から事務局方針が改善され、名称も独立し、内容も改善されました。丁度今から10年前の日本リージョン事務局積立基金募集の当選標語のように“みんなの力でみんなの事務局”と、順調に運営されています。然しその活動は事務局近辺の方々に限られ勝ちで、ご奉仕下さる方々の範囲が決まってしまう。これから検討しなければならない問題だと思っております。

さて、日本リージョンは、永年の念願がかない、日本に於いて世界大会を開催することになり、ホステスリージョンとして、会員の皆様はその準備に懸命に努力して下さっています。この為に今年のリージョン大会は一日にする事とし、ITC会長はじめディビジョンIV副会長ヒラリー・ブラウン様、日本リージョン役員会、そして会員の皆様のご理解を得て今日実行に至りました。私たちが忘れてはならないのは今期翻訳委員会の方々は従来のITC資料、通信だけでなく世界大会のお知らせやプログラムにと大活躍なさって下さいました。感謝いたします。

今日この様に大勢のご出席を得られますことは当初考えられませんでした。これこそ、この大会テーマ“世界の友で地球を小さく”の一端をみる事が出来たと思っています。

多忙な一年ではございましたが、その中にも増設活動のお陰で一つのクラブが誕生しようとしている嬉しい報告が届いています。

私達は新たな世界の変化に対応し、「誇りをもって未来へ」進みましょう。

(1999年6月3日の日本リージョン年次大会にて)

ITC公式訪問者挨拶とITCニュース

Greetings from ITC Official Visitor and ITC News



Hilary Brown A.C., Division IV Vice President

I bring you greetings from our International President, E. Jean Turner and my fellow ITC Board of Directors. This year it has been my good fortune to be the officer appointed to visit your Region Conference.

As you celebrate the 50th anniversary of ITC in Japan may you also celebrate all the exciting developments that have taken place within your region. You can be justifiably proud of the fact that you have the largest membership of any region within our ITC world. This does not just happen. You have worked hard to make it an organization which people want to join. Other regions envy the growth rate you have experienced.

Next month members from all around the world will gather here to share in an experience of a lifetime, the first convention ever to be held in Japan. You are famed for your wonderful hospitality and superb attention to detail. The members from other regions know that they will have a fabulous convention.

I wish you all a very enjoyable conference here in Kyoto. May it be the forerunner to a fabulous convention in Kobe.

I also bring greetings from the Mayor of my home town Taupo. In the language of our native people: Tena kotu, tena kotu, tena kotu, katoa—translated it says: Greetings, greetings, greetings to you all.

(A summary of the Greetings at the Japan Region Conference on June 3, 1999)

ディビジョンIV副会長 ヒラリー・ブラウン

日本リージョン年次大会開催にあたり、ITC国際会長ジーン・ターナーと役員一同、心よりお喜び申し上げます。私は公式訪問者として任命され、日本を訪れることができましたことを、たいへんうれしく思っております。

今年は日本ITCの50周年記念であり、皆さんはこれまで日本リージョンで遂げられてきた素晴らしい発展を、お祝いされていることでしょう。なかでも誇り高い業績は、日本はITCで最も会員数の多いリージョンだということです。これは、是非入会したいと思う組織にITCを育て上げた皆さんの努力の賜です。他のリージョンは日本リージョンの発展を羨ましく思っています。

ITC世界大会が来月初めて日本で開催され、世界中の会員がここ日本に集まり、素晴らしい体験を共有します。日本の皆さんの心温まるもてなしと細部に行き届いた心遣いは有名です。他リージョンの会員は、素晴らしい世界大会になるだろうと確信しています。

ここ京都での大会が楽しいものになりますように、また神戸で行われる世界大会の先駆けとなりますよう、心より願っております。

ここで、私の故郷タウポの市長からのご挨拶を披露させていただきます。マウリ語で、「テナ・コトゥ、テナ・コトゥ、テナ・コトゥ、カトア」「皆様に心よりご挨拶申し上げます」という意味です。

(1999年6月3日の日本リージョン年次大会での挨拶を要約)

ITC本部からのお知らせ

- ・今期ITC本部のスタッフが、がらりと変わり、ITC役員は運営の仕方を改善しようと努力しています。アクションプランや外部からコンサルタントを雇用しているがその一例です。
- ・将来的には、多くのメンバーの要望どおり、本部の設備向上により、各種報告書をEメールで送付するようにします。
- ・ホームページを変えていくつもりです。すぐに、カタログの商品の写真がホームページに記載されるようになります。
- ・皆様も、どのような変化をおこしていったらいいのか、提案して下さい。これからもどんどん変えていきたいと思っています。

第17期日本リージョン年次大会報告

ITC Japan Region 17th Annual Conference Reports

ITCテーマ：「当たり前その先を見て」

リージョンテーマ：「誇りをもって未来へ」 大会テーマ：「世界の友で地球を小さく」

開催日：1999年6月3日（木） 場所：国立京都国際会館

【開会式】

各レベル会長がピアノ演奏にのって晴れやかに次々と入場行進し、ステージに登壇して幕が開いた。江藤万里子日本リージョン会長、ヒラリー・ブラウン・ディビジョンIV副会長の挨拶と共に、野口雄次（西宮クラブ）会員代表が次のように挨拶をした。

「日本リージョンの今期テーマは『誇りをもって未来へ』です。この未来とは一体いつまでの事でしょうか。

私達は様々な考え方、意見を持ちながらITCの組織の中でリーダーシップの養成と指導力の向上に努力しています。私が初めてITCという世界へ足を踏み入れたのは今から7年前、女性になり視点、男性らしい考え方を期待して迎えられたと思います。何も分らないまま、ビジネスやプログラムとただ例会をこなしてきただけで、男性らしさ、そして私自身の存在感を出すべき事を忘れていました。今回初めてリージョン大会に参加し、7月には日本で初めての世界大会が神戸で開かれます。勿論参加する予定です。これを機会に私は宣言します！ 数少ない男性会員としてITCのあるべき姿、また例会やプログラムの進め方、運営の仕方に積極的に提言する事でこの素晴らしい組織の役に立ちたい。

未来はすぐそこにあって又ずっとずっと果てしないその先まで続いているような気がします。ITCで学ぶ事、それは21世紀という未来に誇りを持って引き継いで行きたいと思います。」

【ビジネスセッション】

審議は活発な意見が多く時間内に終了せず、午後1時から続いて別室にて大会派遣員のみ出席で、常規修正案について熱い審議が行われた。（結果は5頁）

【PEP】

変化に合わせて問題解決を！ 変化がもたらす様々な影響をOHP、同時通訳レシーバーを使用して行われた。

【晩餐会】

京都府知事荒巻禎一様、京都市長榊本頼兼様をお迎えして、お祝辞を賜り華やかに宴が行われた。役員就任式はヒラリー・ブラウン・インストラングオフィサーによって、シンプルで、和やかな中にも厳粛に執り行われ、第18期役員へバトンタッチされた。

余興は祇園囃子の賑やかな音が響き、京の風情を満喫し、交流を深める場となった。大会出席者数は867名（ゲスト47名、会員820名）晩餐会は423名と、世界一会員数の多い日本リージョン年次大会は皆様の熱意と努力に感謝し、第18期へ引き継ぐ喜びと、益々の発展を願い盛大な一日大会を終了した。

（10頁まで日本リージョン年次大会関連記事です）



年次報告

Annual Reports

日本リージョン書記 堀 江 祐 子

第17期日本リージョン役員会は、1994年に採択された「日本リージョン声明文」を継承し、会則・常規、役員会方針に基づき、江藤万里子会長のテーマ「誇りをもって未来へ」に沿って、以下の活動を行った。

◆長期目標

1. 第58回世界大会の成功

- ・7月17日から神戸ポートピアホテルで開催される世界大会開催へ向けて、ホステス・リージョンとして全面的にできる限りの協力をした。
- ・世界大会を成功させるための資金づくりの一環として3年間、「コーヒー一杯積立運動」を推進してきたが、最終年度の今期は年間目標額90万円に対して、77.6%を達成し、3年間の総合計は5月31日現在、2,273,217円となった。

2. リージョン組織運営の効率化

- I T C本部、ディビジョン、その他全ての通信は可能なかぎり簡素化し、交信にはファックスとEメールを用いた。

◆短期目標

1. 事務局管理体制の整備

今年度から事務局は、経理部、出版部、資料部、翻訳部の体制が確立した。事務局は昨年度末に現住所に移転し、7月から業務が開始された。今年度からリースによる大型のコピー機が事務局に導入され、活用されている。

2. コンピューターの活用

日本リージョン全会員の名簿が事務局のコンピューターに入力されて、次期の会員名簿作成に使われている。

◆役員会は江藤会長のもとで、現在まで9回京都と名古屋で開催され、通信役員会は5回行われた。

◆8カOUNSルへ、年1回、7名の役員が公式訪問し、他1回はインフォメーションを送付した。

◆カOUNSル及びクラブ宛にリージョンメールを合計5回発送した。

◆リージョン会報は年4回発行の予定で、これまで3回発行し、全会員に配布した。

◆日本リージョンは今期8カOUNSル、81クラブでスタートしたが、奈良若草クラブが6月に認証される予定である。

◆5月20日現在、日本リージョンは、クラブ数81、会員数1,950名である。

◆常任委員会年間活動報告は大会冊子に掲載されているので省略する。

◆リージョン大会は世界大会開催のため一日大会として国立京都国際会館で開催される。ビジネス部門とPEPセッションIは同時通訳で行われる。公式訪問者ヒラリー・ブラウン・ディビジョンIV副会長が45分間のPEPを行う。

◆QMTは1998年10月3日、京都市ホテルにおいて4時間に互り13部門、122名が出席して行われた。1999年6月4日、京都宝ヶ池プリンスホテルで2時間30分のQMTと、1時間30分のRMTが行われる。

今年度の研修は合計、QMT 5時間30分、RMT 2時間、PEP 45分となる。

(1999年6月3日の日本リージョン年次大会での報告の要約)

日本リージョン会則・常規修正

Amendments of Japan Region Bylaws and Standing Rules

日本リージョン会則・決議委員長 小林 令

第17期日本リージョン大会に提出された2件の常規修正案は、大会に於いて審議の結果採択されました。従って、日本リージョン常規2. a. 及び8. c. 4) (1) は下記の記述となります。

1. 常規2. 年会費 a.

a. 年会費は会員1名につき5,000円とする。2つ以上のクラブに所属する重複会員は、1名分のリージョン年会費を最初に入会したクラブを通じて納める。

2. 常規8. ITC日本リージョン事務局 c. 4) (1)

4) ITC本部への送金

(1) クラブの要請に応じて、ITC本部へ新入会員の入会金及び会費、物品購入代金の送金及び送金に伴う書類の処理を行う。

*この項は、「採択された時点で有効とする」という付記も同時に採択されました。

尚、日本リージョン会則の次の条項は、標準会則の必須条項と指定されていますが、今期の印刷に間に合わず元のままの記述で出版されています。新年度新たに出版される会則には、ITC会則及び標準会則の記述に従い、下記のように変更します。

1. 第2条 目的

このリージョンの目的は：

1. カウンシルの拡張を援助し、その活動を統括することにより、コミュニケーションと指導力の高度な訓練を奨励すること、
2. デイビジョン副会長を通して、カウンシルとITC役員会との仲介となり、ITCの枠組みを支えること。
3. クラブ及び会員の問題点を解決する上で、カウンシルを援助すること。

2. 第4条 財務 A項

A項 このリージョンは独立会計とする。

3. 第9条 委員会とその任務 B項 常任委員会の任務 1.

1. 資格認証 資格認証委員会は、ITC資格認証課程マニュアルに示された方針に従って、資格認証プログラムを管理する。

4. 第11条 修正 B項, C項

B項 リージョンはITC会則に矛盾しない会則及び常規を採択し、それにより運営される。

C項 ITC会則の修正が行われ、それに対応して本会則の修正が必要な場合、あるいはITC会則と矛盾が生ずる場合は、本会則はITC大会の投票によって採択された修正に自動的に従う。

教育セッション

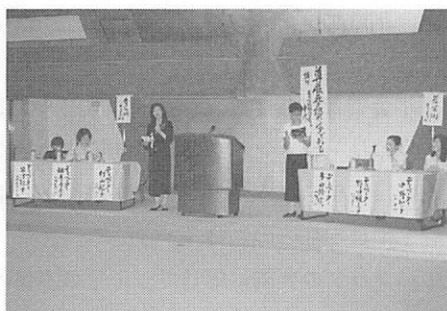
Training Sessions

A. ディベート「尊厳死を認めるべきである」 講評 中沢 美依氏

「共同思考の場」

モデレーター 津田 由貴 (西宮クラブ)

今回は、従来の型にとらわれず尊厳死について皆さんとの共同思考の場とするのが目的でした。そのため、勝敗を競わず互いによく練った論点を皆さんに伝えるべく、数ヵ月間FAXの山に埋もれながら奮闘してきました。「私は、皆さんの応援団長よ」と指導して下さった先生に感謝の気持ちで一杯です。ディベーターの達成感に満ちた輝く笑顔に皆さんも刺激され、目的に合った自由な形でディベートにどんどん挑戦されることを今後期待しております。



B. 講座「あなたは漫画をどう読みますか」 講師 松井 憲一氏

「感想」

スピーカー 山城 真一 (徳島クラブ)



和やかに始まった講座は小人数で行われた事と、漫画を素材にした肩の凝らない内容だった事もあり、和気あいあいとした楽しい講座になりました。素材は新聞の4コマ漫画でしたから人間の機微をついた少し笑えて少し教えられる事のある漫画です。心に残った漫画は子供が母親に「お父さんを点数で表わすと何点」と質問し、母親が「せいぜい60点ってとこね」と答える

ると、父親が「夫婦合せて100点か」と答えると言うものです。どこの家庭でもありそうな会話が笑ってしまうではありませんか。女性にも言い分は沢山あるでしょうがここは男の立場から先生が紹介された川柳で締め括ります。「堪えてきたという 妻の言葉に 堪えてきた」

C. パネルディスカッション「21世紀に求められる人間像」

「役をお受けして」

モデレーター 森田 慶子 (大阪クラブ)

示されたテーマの壮大さに圧倒されつつ、好奇心に駆られモデレーター役をお受けして、事の重大さに気付いた時はもう第1回の打ち合わせを始めていました。リージョンプログラム委員長はじめ委員の方々も出席、ご指導下さいました。パネリストの方々とは初顔合わせでしたが、そこはITC会員同士、願いは同じで皆様



に満足して頂きたいと、準備に熱中、打ち合わせの度に遠路をご出席、プログラムリーダーも来られ、その熱意には頭が下がりました。

モデレーターとしては、パネリストの思いが参加者に充分伝わるよう、最後まで活気のある会にとりましたが、果たして聴衆の皆様「求められる人間像」が浮かびましたでしょうか、今は唯、評価を待つのみです。

D. ワークショップ 「どうやって楽しむの」

「楽しみが増えました」



参加者 田口 郁子 (飛騨高山クラブ)

パソコンをやり始めたばかりで、少し面白さが分りかけていた時でしたので、迷わず教育セッションDを選びました。息子が毎日飽きもせず、電子メールで未知の人との出会いを楽しんでいるのをやっかみと羨望の眼差しで見ているだけでしたので「よし、6月3日で私は変わるのだ!」と意気込んでいましたが「どうやって楽しむの」というタイトルどおり、楽しめるまでには、い

かなかったようです。プロトコルやチャットの意味を理解するのに精一杯 (いや理解に苦しんだ)。でも、インターネットの驚異的な発展普及に驚くと共に、あと何年生きるかわからないけど、これに挑戦しなければ損だと思ふ気持ちになっている自分に驚いています。未知の世界を極める楽しみがふえた事を嬉しく思い、企画して下さいました事に感謝を申し上げます。

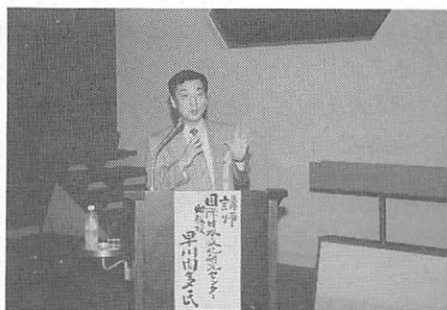
E. 講座 「浮世絵の楽しみ方」 講師 早川 聞多氏

「見立て絵の絵解き」

昼食後の教育、しかも暗くしてのスライドを見せられると、どうしても顔と顔が仲良くなりがちですが、しかし、先生の教育はとても興味深く、もっといろいろ見せて頂きたいと思う間に時間になってしまいました。鈴木春信の浮世絵を中心に見立て絵の楽しさ、教育的効果を再認識しました。「見立て」る、その「見立て」を理解するには豊かな感性・教養が必要です。

しかし初めはその見立ての心が分らなかった人も少し教えて頂くと、突然その本質 (本歌) までが鮮明に理解できる。そうした力が「見立て」(絵) にはあるのですね。一つの絵を中心に豊かなコミュニケーションをしていた江戸庶民の生活が楽しく偲ばれました。

参加者 又賀 敬子 (松江クラブ)



スピーチコンテスト

Speech Contest

入賞者

—ENGLISH—

1st Place Winner: Yukiko Ochiai (Council No. 1/Sakae)

Subject: A Challenge

Title: Amid the Globalization of the World

2nd Place Winner: Akiko Nobusawa (Council No. 8/Kashiwa)

Subject: Dreaming

Title: A Bluebird in My Hand

3rd Place Winner: Masae Onodera (Council No. 4/Tokuyama)

Subject: Figure

Title: What a Fantasy!



—日本語—

優勝：大家 奈々 (カウンスルNo.8/東京)

論題：キーワード 題目：まず笑顔

2位：楠 成子 (カウンスルNo.6/都)

論題：感動 題目：目に見えぬもの

3位：白村 治子 (カウンスルNo.2/神戸)

論題：魅力 題目：ええ格好せんところ

—優勝者にお尋ねしました—

1. 各レベルで同じスピーチをされましたか？
2. 会場の雰囲気はいかがでしたか？
3. 優勝を誰に伝えましたか？ その反応はいかがでしたか？

英語の部優勝者 落合 友紀子

1. クラブレベルでは違うスピーチを致しましたが、カウンスルとリージョンはほぼ同じです。
2. プログラムリーダーが和やかな雰囲気を作り出され、聴衆の皆様の反応もとても良かったように思います。ただ自分のスピーチの時は緊張気味で、その反応についての記憶がありません。
3. 駅に迎えてくれた夫に最初に伝えました。気づかってか結果をすぐに聞かない夫に、そう伝えますと「ええーっ!」と信じられない様子。「それで次は世界大会？」と再度びっくりして、「そりゃ大変だ!」

日本語の部優勝者 大家 奈々

1. カウンスルで違う話しをしたら、不評さくさくだったので、クラブでのスピーチを磨き上げました。
2. カウンスルとは比較にならない緊張感の中全く存じ上げない方々が、微笑んだりうなずいたりしながら聴いて下さることに感動し、ITCとはさすがいい方々の集まりであると実感しました。
3. 最初に、娘に伝えました。「すごいじゃない。で、テーマは何？ 笑顔が一番？ じゃそれ実践しなきゃ。マミーたまに怖い顔するもの。」つぎに夫。「ふんふん、それはよかったね。」さらに姉。「おめでとう。ところでその会の名前何やった？ ICBM? 何回聴いても覚えられへん。」

第17期日本リレーション年次大会における表彰

Awards

設立50年表彰

カウンスルNo.1 名古屋クラブ

35年～40年継続会員

カウンスルNo.1 新木昌子 盛田純子 [40年継続会員]

カウンスルNo.1 鈴木宏子 須知繁子 [36年継続会員] 以上4名・名古屋

20年継続会員

カウンスルNo.2 山本須名美 (阪神) 置塩啓子 (イースト神戸)

カウンスルNo.3 杉山満佐子 (関西)

カウンスルNo.6 近松淳子 井上丹規子 加藤朗子 小山孝子 桑田恵以子

中川愛子 野村美智子 小川晶子 大野三恵子 大藪省子

常田道子 山田千恵子 (以上京都)

都間和子 (サタデー) 以上16名

フルメンバークラブ

カウンスルNo.1 名古屋クラブ 錦クラブ 飛騨高山クラブ

カウンスルNo.3 姫路クラブ しらさぎクラブ

カウンスルNo.4 ひろしまクラブ 福山クラブ 岡山クラブ 徳山クラブ

カウンスルNo.5 大阪クラブ 徳島クラブ

カウンスルNo.6 京都クラブ 奈良クラブ

カウンスルNo.7 鳥取クラブ 松江クラブ

カウンスルNo.8 東京クラブ 以上16クラブ

※30年継続会員は該当者なし。

今期ITC本部でお役をつとめられた会員

第58回ITC世界大会	コーディネーター	新木 昌子 (名古屋)
資格認証委員会	委員	松下 えん (東京)
選挙委員会	委員	石川 祥子 (葵)
儀典委員会	委員	小林 令 (東京)
スピーチコンテスト委員会	委員	アン・イソット (阪神)

第18期日本リージョン選出役員

The 18th Japan Region Officers



後列左より曾根、村上、永井、前列左より桑原、今井、中村の役員の皆様

会長 President:	今井千代子 (青山) Chiyoko Imai (Aoyama)
次期会長 President-Elect:	桑原美紀子 (ひろしま) Mikiko Kuwahara (Hiroshima)
第一副会長 1st Vice President:	中村治子 (青山) Haruko Nakamura (Aoyama)
第二副会長 2nd Vice President:	村上令子 (名古屋) Reiko Murakami (Nagoya)
書記 Secretary:	曾根悦子 (千葉) Etsuko Sone (Chiba)
会計 Treasurer:	永井眞澄 (彩玉) Masumi Nagai (Saitama)

東京でお会いしましょう！

第18期日本リージョン年次大会は2000年6月2日（金）3日（土）の両日、ホテルオークラで開催。

謝 辞

「大会を終えて」

大会コーディネーター 寺内 紗智子

大会コ・コーディネーター 中野 知子

第17回 ITC日本リージョン年次大会を無事終了致しました。感無量です。初めての一日大会とあって多少不安もありましたが、6年ぶりの京都での大会に大勢のゲスト並びに会員の皆様のご参加を得まして、盛大に行うことができ、とても嬉しく思いました。リージョン会長を始め役員のご尽力、準備委員会の方々はもちろんの事、ご出席の皆様、国際会館スタッフの方達の熱意とお力添えで、無事に大会を乗りきり、心から感謝致しております。本当にありがとうございました。最後に皆様のご健康と今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。

考えてみましょう。これからのITC

Food for Thought for the Future of ITC

「これからの日本リージョンについて」

イースト神戸クラブ 置 塩 啓 子

新しい世紀が近づきます。来世紀にあっても活力ある組織であるために、日本リージョンは今なにをしておけばいいのか、このような視点で幾つかの提案を考えてみました。

1. 指名委員会の選び方を変える。リージョンの指名委員会は必ずしも選挙で選ばなくてもいいのではないかと考えます。たとえば8つのカウンスルの会長が3名づつ兼任する、あるいは次の年に指名委員の任務に就く、というようにすると、8つのカウンスルからリージョン役員にバランスのとれた人選が今より効率的にできるでしょう。実際にITCレベルの指名委員会は任命です。

2. 役員の数少数（5名以下）にする。世界は政治、経済をはじめとして、トップを小さくし身を軽くして活動を迅速に、という傾向にあります。現在世界の27リージョンのうち、役員が6名のリージョンは日本を入れて3つ、5名は17、あとは4名です。

3. クラブ／カウンスル研修会を考え直す。「一同が会する」貴重なこの機会を、同じレベルの前任者や経験者の情報を聞き、横の連絡を密にするような会合にしてみるのはいかがでしょうか。トップダウンの情報はリージョンメールと会報でします。

4. 次期会長は会則決議委員長を兼務する。リージョンをよりよく知り、また2年という与えられた期間を有効に使うために、兼務は役に立つでしょう。

これら4つはおもに構造についての提案です。以下はソフト面の提案です。

5. 日本独自の活動をはじめ。世界のリージョンのなかのいくつかは独自の活動をしています。英国のリージョンは、クラブ間勝ち抜きディベートをして、優勝戦をリージョン大会でおこないます。ニュージーランドはショートストーリー・コンテストをして、リージョン大会で優勝者を発表します。南アフリカではワークショップ・コンテストを始めたと聞きました。

1) 日本語のスピーチコンテストを充実させる。より多くの会員にリージョンレベルでスピーチをしてもらい、新しい教育的な成果を開拓していきましょう。例えば、「私の主張」を発表するような誰でも参加できるもの、日本人に苦手な即興・即席のスピーチコンテスト、外部の団体、学生に参加してもらいものなど、日本語のスピーチで充実したコンテストを計画してはどうでしょうか。

2) 独自の教育資料を作成する。これまで翻訳が主だったいろいろな資料に加え、国内に目を向け、すぐれた資料（例えば役員研修とか常任委員会のマニュアル、ワークショップ、プログラム作りのアイデア国内版など）を編さんし、会員に広く利用してもらい、この仕事も今後日本リージョンにぜひしてもらいたいものです。

6. リージョン大会をもっとダイナミックに。日本リージョンはリージョンだからこそできる事（例えばワークショップ・コンテスト、クラブプログラムの創作、独自の教育資料の編さん、言葉やスピーチに関連して奨学金を設けるなど）の企画、検討、実行の過程で、年に一度全国から集まり「会して議する」この機会を、出席している会員の意見を広く、しかも直接インプットできる場として活用し、大会をさらに有意義なものにしていくのはいかがですか。

それほど遠くない将来、在宅のままでも様々な情報を入手でき、Eメールで簡単に情報を交換し、楽しいおしゃべりもできるようになると、わざわざ出かけて行って会合をするクラブやカウンスルの例会、CMT、リージョン大会の意味とは、どのようになるのでしょうか。直接人と会う、大勢の人の前で声を出して話す、ということに今までとは異なる新しい意義が出てくることはまちがいありません。日本リージョンの次の歴史の頁に、多くの若い新しい会員が新しい出来事を書き入れてくれることを期待いたします。

今、私たちのクラブは……

“Now, Our Club is. . . .”

—夜間例会編—

午後7時開会します

神戸クラブ会長 バルク良子

1972年、日本で第3のクラブとして発足し90%の会員がキャリアウーマンなので夜間の例会を続けてきました。ITCと同様にディナーがありインボケーションをささげる唯一のクラブです。英語で活動し本部からのコミュニケーターをすぐ理解することも素晴らしいことです。

1995年1月17日の阪神大震災に遭い、メンバーのうち約半分はやむを得ずITCを離脱してしまいました。また、震災後の夜間は安全上の理由から欠席が多くなり、30人のフルメンバーから15人まで減ってしまいました。でも、夢は捨てていません。1999年7月には我が神戸で行われる世界大会成功に向けて、積極的に活動し協力しています。12人のメンバーが「世界のクラブと手をつなぐ」のチェーンに参加し、出席できない世界中のクラブのデリゲートとして大会出席を登録しました。この大会を機会に、港の夜景の美しいホテルの11階の会議室で、世界中からの女性や男性ゲストとの多彩なプログラムを通してメンバーを増やし、今以上に活気あふれる30人のフルメンバーになることを願ってやみません。

Meeting in the Evening

Yoshiko Burke, President of Kobe Club

Since 1972, Kobe Club ITC, the 3rd club in Japan, has been meeting in the evening. Similar to other ITC clubs, we have a dinner meeting and starts with an invocation—the only club in Japan to do so.

It is wonderful since we communicate in English, we can invite any foreign guests or members, and we can read and understand the ITC Communicator.

Many members have left the club since the Great Hanshin Earthquake on January 17, 1995. Also there have many absentees since going out in the evening has not been very safe after the quake; we lost half of our membership from 30 to 15.

However, we have not thrown away our Dream. We are all striving hard, participating positively toward a successful ITC Convention in our city, Kobe!

Twelve members have registered with the convention as delegates, joining the Around the World Chain, to represent other international clubs that can not attend.

This year is a wonderful opportunity to increase ITC membership as we meet in the Hotel Conference room, viewing the multi-million dollar sight of Kobe.

We hope to increase our membership to a full 30 through various programs, inviting men and women from all over the world!

仕事のあとの例会

蕪崎クラブ会長 原田真弓

「こんばんわ!」「ひさしぶり!」毎月第2木曜日の夜7時、元気な声が蕪崎市文化ホールの会議室に響き、ITC蕪崎クラブの例会が始まります。忙しい仕事を持ち、疲れながらも、ITCの魅力に引きつけられ、職場から直接会場へ駆けつけてくるのです。会長としては、毎回、定足数がたまるかと、ヒヤヒヤしながらの開会なのですが……。

2時間のプログラムを終わって、午後9時。それから、久しぶりにあった会員どうし、互いに情報交換し(あらゆる分野についてのおしゃべり)、なごりを惜しみながら「さよなら、またね!」「おやすみ!」と帰路に就く。これが蕪崎クラブの例会風景です。

どのクラブもフィールドトリップは楽しみですが、普段じっくり話をする時間がとれない蕪崎クラブにとってはことさら重要です。互いに、普段は気がついていない心遣いや、思いがけない一面を発見したり、素晴らしい仲間に出会えた喜びを感じずるひとときです。

これからも夜間例会だからこそ、仕事を持ちながら続けてゆけることに感謝し、少ない時間を有効に使って、素晴らしい出会いを楽しみにITC活動を続けて行きたいと思います。

第17期日本リージョン役員を終えて

The 17th Japan Region Officers' Thoughts

皆様ありがとうございました。心からお礼を申し上げます。

選出役員

「誇りをもって未来へ」

会長 江藤 万里子

今期、日本リージョン一日大会の為にかなり無理な事もございましたが、全会員が協力して下さいました。嬉しく感謝しております。日本リージョン会員の皆様ありがとうございました。

「図るは…？ 為すは…？」

次期会長 今井 千代子

意見、要望、必要性を検討し、プロセスを大切に、なお、継承だけではなく、改革を、転換を、変化を求める！ 創造性を豊かにし、能率的に、成果大きく、先見性を持ち、新しく、進展する！

「着地は？」

第一副会長 西田 富美子

「宙がえり何度もできる無重力 着地できないもどかしさ」向井千秋。「ITCでのコミュニケーション 着地できたりできなかつたり」心と体で覚えた感謝の一年でした。

「感謝」

第二副会長 佐山 昌子

8カウンスル会員委員長からのきめ細かな報告の中でも、会員数の増減には一喜一憂した一年間でした。笑顔と優しい言葉で「会員増」にご協力下さいました皆様に感謝申し上げます。

「良いトレーニングになりました！」

書記 堀江 祐子

近年、集中力を持続させる難しさを感じていましたが、議事録の作成には会合の最後までしっかり聴いていなければならず、この一年間、集中力の持続にとっても良いトレーニングになりました。

「一日一日、刻一刻の全力投球」

会計 大藪 京子

「安全、正確、信頼」を目標に、リージョン会計の高いハードルを飛び越える事に、全身全霊で打ち込んだ充実した一年でした。心に残る出会い、友情、愛を育むことの出来た事を感謝致します。

任命役員

「楽しく勉強」

議会法規 鈴木 宏子

今期は日本会員の目が世界大会に向いている時でしたが、各々が職務を尽くされリージョン大会の為に万全の準備をされました。私もこの役を楽しく勉強させて頂きました事を感謝しています。

「お礼」

事務局長 鶴飼 恵津子

17期の終りに際して、さまざまな形で事務局に関わって下さいました全国の会員の皆様、特に資料の取りまとめ、物品の販売にご尽力下さいました資料部員各位に心からお礼を申し上げます。

「有意義な一年」

編集者 梶本 町子

依頼を快く受けて書いて下さった原稿を読み耽る。校正で活字を穴のあくほど見る。考え、喜び、悩み、楽しみ、言葉の深さ重さを強く感じ、皆様から教えて頂いた実りある有意義な一年でした。

情報スペース

Information Space

◆事務局資料部ニュース

約7年前に刊行したマスターマニュアルも再販の時期となりました。1冊のコスト安を考えバイダーを外し普通の本の形態に致します。少々重いが持ち運びも可能です。今後は事務所に保管し、発送致します。早くほしいと言う要望にも応えることも出来、送料の節約にもなります。

◆奈良若草クラブ誕生

1999年6月1日付にて、ITC奈良若草クラブ(認証番号3666)が、認証されました。所属カウンスルはNo.6となります。チャーター式典は1999年7月10日奈良ホテルに於いて、行われました。

◆ITC名古屋クラブ50周年記念式典のお知らせ

2000年3月13日(月)名古屋観光ホテルにて開催予定です。

◆From Division IV Global Connection ディビジョンIVグローバルコネクションより

News from HQ: Consultant's Report The board employed the services of Mr. Mark Mayeda, a consultant for non-profit organizations. A full report on his findings will be available at the convention. His advice has been very helpful to date. One of the first things that is being implemented is a fully automated office with all computers networked. The membership program will be updated and the budget will receive an in depth overhaul. Watch this space for more news.	本部からのニュース：コンサルタントの報告 役員会は、非営利組織のコンサルタントであるマーク・マエダ氏を採用しました。大会で、彼の全報告がおこなわれることと思います。現時点で、彼の助言はとても役立っています。最初の仕事の一つとして、コンピューターネットワークによる事務所の完全自動化です。会員管理は最新のものになり、予算は底から立て直しが行われることでしょう。これに関してこれからのニュースに注意してください。
--	--

Visit the ITC Website. Have you visited the ITC Website yet? http://www.escape.ca/~itcintl During the next fiscal year there will be a competition to design our website, so all those with a natural talent in that area, get your thinking caps on.	ITCのウェブサイトを見てください。 もうITCのウェブサイトを見てくださいましたか。 http://www.escape.ca/~itcintl 次の年度に、ウェブサイトのデザインコンテストが行われます。この分野に先天的な才能を持っていらっしゃる方はそろそろ考え始めてください。
---	---

◆全世界のITC会員数

1999年4月30日現在で、クラブ数692クラブ、全会員数9,669名(内終身会員677名)です。

◆役員及び役員の住所、電話、Faxの変更

カウンスルNo.1 ぎふクラブ 書記 河田易子→相宮はつあ

カウンスルNo.3 尼崎クラブ 議会法規 吉江育子 新住所〒664-0882伊丹市鈴原町3-23-2

Tel. 0727-72-5135 Fax. 0727-80-1604

カウンスルNo.6 鴨川クラブ カウンスルへの派遣員 藤井典子 Tel. 075-601-0570

◆Japan Region Vol.17/No.3 の訂正とお詫び

4頁2行目 高橋宏子→高橋弘子と訂正

◆日本リージョン年次大会参加者の声

- ・頑張って6時に国際会館に着いたが、開館は7時半だと知らされた。
- ・会場図面の大きな表示、又は案内のアナウンスがあればもっとスムーズに移動できたのでは。
- ・受付の締め切り時間をきめたら良いと思う。
- ・会員最大の関心事である審議の時間が短すぎる。別室での審議の際、希望者の参加を認めて欲しかった。(多数)
- ・歴代会長席が薄暗く陰気な感じだったので、もう少し場所に配慮した方がよい。
- ・年次大会にマッチした良い会場であった。
- ・同時通訳レシーバーの使用は大変便利であった。
- ・コーヒープレイクの時間はほっとできたひとときであった。もう少し長ければもっと良かったと思う。
- ・男性会員の活躍が目覚ましく、会員の層の厚さが感じられた。
- ・ホテルと会場のシャトルバスがとても便利であった。
- ・一日大会であったので参加しやすかった。
- ・一日大会にふさわしい色々な工夫がなされていた。
- ・プログラムが全会員に配布されたのはよかった。
- ・入場から閉会まで、格調高く行われたリージョン大会でした。同時通訳があり、公式訪問者とのコミュニケーションは問題なく取れたと思います。しかし、この同時通訳は公式訪問者のためだけに導入されたのでしょうか。ITCの創設はアメリカ。ITCの過半数の会員は英語で会合を開いています。ここ日本でもクラブ数は少ないものの、英語クラブが全国にあります。また多くの日本語クラブ会員も、英語のスピーチコンテストに参加されています。日本リージョン大会ももっとバイリンガルに展開すべきだと思います。せっかく同時通訳があるので。壇上で英語、日本語が飛び交う大会にしてほしいと思います。

—編集室便り—

第17期日本リージョン会報最終号をお届け致します。今期、会報は情報、報告、提言など原稿が偏らないように気を配りながら紙面提供をして参りました。原稿に一字一句ご配慮された方、お読み頂いた方、感想や励ましの言葉をお寄せ頂いた方、皆様のご協力に厚くお礼を申し上げます。又印刷代(会報・コミュニケーター訳)、送料(各クラブ・国内外役員)を少しでもコストダウンになるよう努めました。会報は皆様にとって「文書によるコミュニケーションの場」としての役割を少しでも果たせましたでしょうか。私達は家庭生活では経験出来ない、編集の役に携らせて頂き、お陰で言葉の正しい意味、使い方の再認識など多くを学ぶ機会に恵まれました。

「印刷工房くどう」様にはホームワークを抱えた学生気分よろしく専門知識のご教示を頂きお世話になりました。終りに当たり、会長はじめ皆様の大きな支えに心からの感謝を申し上げます。ありがとうございました。

編集者—榊本町子

スタッフ—米田隼子／十河尚子／辻本貴満子

◆印刷工房くどうよりお願い—来期のリージョン会報より私共の業務を上野タイプ印刷株式会社(大阪市)に委ねることになりました。引続きよろしくお願い申し上げます。約20年の長い間の皆様のご好誼に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。—工東祐幸

